

移住・定住施策について



長野県 伊那市

目 次

1	移住施策に係る計画について	2
(1)	移住・定住促進プログラム	2
(2)	シティプロモーション戦略	2
(3)	地方創生総合戦略	2
(4)	伊那地域定住自立圏共生ビジョン	2
2	移住・定住施策	3
(1)	施策の概要	3
(2)	いな住まいる補助金	4
(3)	空き家バンク制度	6
(4)	過疎地域定住促進補助金・田舎暮らしモデル地域補助金	9
(5)	田舎暮らしモデル地域	10
(6)	田舎暮らしモデルハウス(短期移住体験施設)	11
(7)	移住体験住宅(中期移住体験施設)	12
(8)	移住希望者向け仮住戸(移住準備の住宅支援)	12
(9)	移住準備住宅	13
(10)	田舎暮らし住宅、若者・子育て向け住宅	13
(11)	子育て住まいる(市営住宅の子育て支援)	13
(12)	結婚支援	14
(13)	地域おこし協力隊・集落支援員	15
3	情報発信について	21
(1)	プロモーション動画・テレビ番組	21
(2)	雑誌広告掲載	21
(3)	移住セミナー	22
(4)	移住体験ツアー	23
(5)	オンライン移住セミナー・移住ツアー	24
(6)	SMO UT	25
(7)	移住定住ガイドブック	26
(8)	地域の教科書	27
4	移住施策の効果	28
5	伊那市の概要	31

1 移住施策に係る計画について

(1) 移住・定住促進プログラム ⇒ ※第2期地方創生総合戦略へ踏襲

伊那市の人口は、平成19年をピークに減少に転じ、社人研における人口推計でも、一層の人口減少が進むものと予想される中、人口減少傾向に歯止めをかけ、効果的で独自性のある施策を戦略的に展開し、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現を図ることを目的に策定。

【概要】

ア 策 定	平成25年10月
イ 計画期間	前期 平成26年度～平成30年度 / 後期 令和元年度～令和5年度
ウ 目 標	自然動態 1.60前後(H18～H22平均)→2.00 (R15) 社会動態 転入促進+転出抑制により、人口推計より年間120人の増加
エ 施 策	既存施策の充実+新規重点プロジェクトの展開

(2) シティプロモーション戦略 ⇒ ※第2期地方創生総合戦略へ踏襲

伊那市が市内外から選ばれるために、生活のあらゆる場面を想定し、市民や都市住民に対し、多様な媒体を通じて伊那市の魅力を発信することで、「伊那市で暮らしたい」という意識の醸成と行動を促し、定住の地として選ばれる地域に導く。

【概要】

ア 策 定	平成26年11月
イ 計画期間	平成27年度～令和元年度
ウ 目 標	市内 「郷土への誇り」、「愛着心」の向上による定住促進 市外 「知名度」「認知度」「好感度」の向上による移住者の獲得
エ 施 策	情報発信の強化+アクションプランの展開

(3) 地方創生総合戦略

若い世代の就労、結婚、子育ての希望の実現、東京一極集中の是正、地域課題の解決により、住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持することを目指す。

ア 策 定	令和2年3月(第2期計画)
イ 計画期間	令和2年度～令和6年度
ウ 目 標	自然動態 1.44(H22)→2.07 (R27) 社会動態 転出超過 (H22:△304人/年) →転入超過(R27:240人/年)
エ 施 策	日本を支えるモデル地域構想の推進

(4) 伊那地域定住自立圏共生ビジョン

経済や生活の結びつきが強い近隣自治体との連携を深めながら、「伊那地域定住自立圏」の形成を進め、将来にわたり地域住民が安心して暮らせる魅力的な地域づくりを目指す。

ア 策 定	令和3年3月(第2期計画)
イ 計画期間	令和3年度～令和7年度
ウ 市 町 村	伊那市、箕輪町、南箕輪村
エ 主な施策	空き家バンク・子育て支援の連携、行政区域間縦断路線バスの運行等

2 移住・定住施策

(1) 施策の概要

① 移住支援



② 定住支援



(2) いな住まいる補助金

① 住宅の新築・取得等



若者世代の住宅の
新築・取得に対して

最大150万円を
補助します！



- ◇市内に新築・建て替え・建売 **25万円** (基本額)
- ◇居住誘導区域内に新築・建て替え・建売 **+25万円** (加算)
- ◇土地の取得を伴う新築・建て替え・建売 **+50万円** (加算)
- ◇市内に本店・支店または営業所がある
業者で建築した新築・建て替え・建売 **+50万円** (加算)

対象

- 45歳以下の者、45歳以下の配偶者を持つ者
または同居する中学生以下の子を持つ者
- 自治会に加入し、地域活動に参加する意思が認められること
- 令和5年4月以降に登記が完了している建物を所有している者

※居住誘導区域とは・・・西町区城南町地区、荒井区上荒井地区
西箕輪地区、東春近地区、富巣新山地区、美簗青島地区
および立地適正計画の居住誘導地区（過疎・田舎暮らしモデル地域除く）

事業期間 令和5年度から令和7年度まで3年間

その他 過疎地域(高遠町・長谷)は「過疎地域定住促進補助金」が、
田舎暮らしモデル地域(新山・伊那西)は「田舎暮らしモデル地域補助金」が
適用されます。

「いな住まいる補助金」に関するお問合せ

伊那市役所 地域創造課
移住定住促進係

T E L : 0265-78-4111 内線 2252, 2253
E-mail : jkz@inacity.jp

移住定住応援サイト「伊那に住む」
<https://www.inacity.jp/iju/>



○伊那市太陽エネルギー利用設備設置補助金 ※既存住宅が対象

- ◇太陽光発電設備 住宅用 70万円
- ◇定置型蓄電設備 住宅用 77.5万円
- ◇太陽熱利用システム 60万円



○伊那市山林資源活用機器設置補助金

- ◇薪ストーブ設置 30万円
- ◇ペレットストーブ設置 42万円



○伊那市産材利用促進事業補助金

- ◇伊那市産材の使用材積に応じて 50万円



○出産祝金

市内全域で第一子のお子さんから出産祝金を支給します

対象者

- ・令和5年4月1日以降に出産された方
- ・出産時に伊那市に住民登録があり、引き続き6か月間 市に定住する方
- ・世帯全員が市税等を滞納していない方

支給額

- ◇第1子 3万円
- ◇第2子 5万円
- ◇第3子 7万円
- ◇第4子以降 10万円

(注) 第1子、第2子の数え方は、児童手当に準じます

○太陽光発電設備・定置型蓄電設備・太陽熱利用システム

生活環境課 自然エネルギー推進係

T E L : 0265-78-4111 内線 2211・2212

E-mail : sei@inacity.jp

○薪・ペレットストーブ、市産材利用促進補助金

50年の森林推進課 50年の森林推進係

T E L : 0265-78-4111 内線 2416・2417

E-mail : 50ms@inacity.jp

○出産祝い金

子育て支援課 子育て支援係

T E L : 0265-78-4111 内線 2322・2323・2327

E-mail : kos@inacity.jp

② 宅地分譲補助金

- <補助対象> ・事業者が行う宅地分譲
- ・令和4年4月以降に分譲された土地を所有する業者
 - ・1区画 200㎡以上で、3区画以上の分譲

<補助金額> 1区画あたり 300,000円

(3) 空き家バンク制度

① 制度の概要

伊那市では、空き家の活用による移住・定住の促進を目的として「空き家バンク制度」を導入しています。空き家所有者の方（空き家を売りたい・貸したい、もしくはお悩みの方）、空き家を買いたい・借りたい方、まずは、お気軽にご相談ください。

空き家所有者

空き家を売りたい・貸したい人
に行っていただくこと

① 登録申請

空き家バンク制度を利用したい方は、登録申込書等の申請書類を伊那市役所へご提出ください。

③ 物件調査（現地立会）

所有者の方にお立会いいただき、市役所担当者が間取りや家屋の状態の確認および聞き取り、写真撮影を行います。物件調査後、伊那不動産組合へ媒介契約締結の依頼を行います。

④ 媒介契約

伊那不動産組合加盟の担当不動産事業者から連絡が行き、売却価格または家賃等を決定し、媒介契約を結びます。

※増改築
※家財等の撤出・清掃
→空き家バンク登録促進補助金申請
詳しくは裏面を参照ください

農地付き物件の売買について

空き家バンクの登録物件に農地を付属して売りたい場合には、農業委員会に必ず相談をしてください。農地付き物件を購入する場合にも面積や諸条件により、必要な手続きや掛かる期間が変わりますので、農業委員会にご相談ください。

伊那市農業委員会 事務局
0265-78-4111（内線2861・2862）

⑧ 売買・賃貸借契約

→空き家バンク成約報奨金申請
詳しくは裏面を参照ください

空き家バンク

伊那市役所の行うこと

② 申請書類審査

申請書類の内容確認および家屋図面調達等の後、物件調査の日程調整のご連絡をいたします。

③ 物件調査

所有者の方にお立会いいただき、市役所担当者が間取りや家屋の状態の確認および聞き取り、写真撮影を行います。物件調査後、伊那不動産組合へ媒介契約締結の依頼を行います。

④ 媒介契約

伊那不動産組合加盟の担当不動産事業者から連絡が行き、売却価格または家賃等を決定し、媒介契約を結びます。

⑤ 空き家バンク登録
物件情報掲載

媒介契約締結の連絡を受けて、空き家バンク登録が完了します。物件情報が、伊那地域空き家バンクホームページや伊那市移住・定住相談窓口Facebookページに掲載されます。

⑦ 現地案内・交渉

気になる物件があれば、担当不動産事業者に連絡し、必ず物件の見学（内覧）を行った上で売買もしくは賃貸借契約を行ってください。

⑧ 売買・賃貸借契約

空き家バンク
不動産事業者の行うこと

空き家
バンク制度
のご案内

利用希望者

空き家を買いたい・借りたい人
に行っていただくこと

⑥ 物件の間覧

伊那地域空き家バンクホームページやFacebookページにアクセスし、気になる物件がないか確認してみましょう。情報更新は不定期なので、マメな閲覧がおススメです。



空き家バンクホームページ



Facebookページ

⑦ 物件の見学

気になる物件があれば、担当不動産事業者に連絡し、必ず物件の見学（内覧）を行った上で売買もしくは賃貸借契約を行ってください。

⑧ 売買・賃貸借契約

売買あるいは賃貸借契約の締結と合わせ、空き家バンク利用申込を行います。

→空き家バンク利用促進補助金申請
詳しくは裏面を参照ください

お問い合わせ

伊那市役所 地域創造課

〒396-8617 長野県伊那市新田3050番地

TEL 0265-78-4111（内線 2253）

E-mail jkz@inacity.jp HP https://www.ina-akiyabank.jp

Facebookページ https://www.facebook.com/174akiyabank/



伊那地域空き店舗バンクホームページオープンしました！

詳しくは、伊那市商工観光部 商工振興課 商業労務係までお問い合わせください。

https://shop.ina-akiyabank.jp/

TEL 0265-78-4111（内線 2431・2432）



空き家 バンクの 補助金

伊那市では、空き家バンク登録物件の増改築工事や家財等の搬出・清掃に利用できる、**空き家所有者向けの補助金制度**と、空き家バンク登録物件を取得した際に利用できる、**利用者向けの補助金制度**があります。それぞれの補助金制度や要件等についてご紹介します。



空き家所有者向けの補助金制度



空き家バンク登録促進補助金

- 1 増改築等にかかる経費の10分の2
(最大 **75** 万円) を補助
- 2 家財等の搬出・清掃にかかる経費の
最大 **15** 万円までを補助

※申請期限は、空き家バンク登録申請日から3年以内です。
※補助金を受け取った日から、5年以内に当該物件を取り壊したり、担当不動産事業者以外での売買・賃貸契約が成立する等、空き家バンク制度の要件から外れた場合には、補助金を返還していただく場合があります。
※登録促進補助金は、事業開始前後の写真や見積書、領収書等が必要となります。補助金申請をお考えの方は、事業着手前にご相談いただくと安心です。

空き家バンク成約報奨金

- 3 空き家バンク登録物件の**契約成立後**に
報奨金 **10** 万円を支給

※申請が必要です。申請期限は、空き家バンク登録物件の売買又は賃貸の契約後1年以内です。
※成約報奨金は、平成28年4月1日以降に登録された物件に適用されます。



利用者向けの補助金制度



空き家バンク利用促進補助金

- 右の要件のすべてに該当する方の空き家バンク登録物件の取得や増改築にかかる経費の10分の2
(最大 **75** 万円) を補助

※補助金を受け取った日から5年以内に当該物件から住所を有しなくなった場合、補助金を返還していただく場合があります。
※取得の場合は、取得から2年以内、増改築の場合は、事業着手前を原則とし、特別な事情があるときは、取得から3年以内を期限とします。

【要件】

- 1 空き家バンクに登録された物件を取得した者
- 2 当該物件に住所を有し、定住する意思が認められること
- 3 物件の所有権を有する者が15歳以上45歳以下の者、又は15歳以上45歳以下の配偶者を持つ者、又は同居する中学生以下の子を持つ者
- 4 自治会に加入し、地域活動に参加する意思が認められること

お問い合わせ

伊那市役所 地域創造課

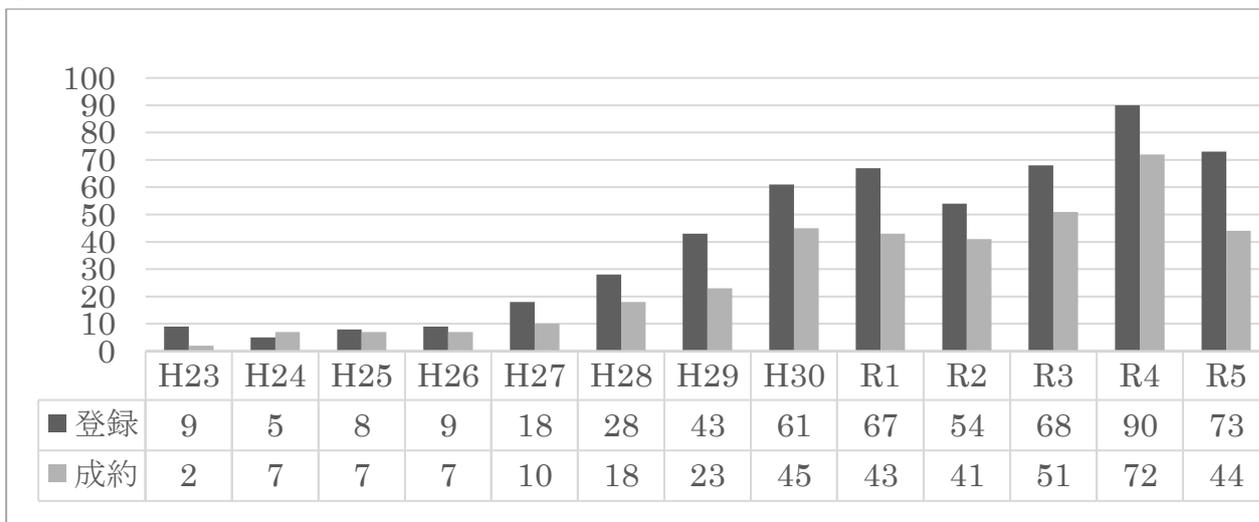
〒396-8617 長野県伊那市新田3050番地

E-mail j kz@inacity.jp H P <https://www.ina-akiyabank.jp>

TEL 0265-78-4111 (内線 2253)

Facebookページ <https://www.facebook.com/174akiyabank/>

② 空き家バンク登録及び成約件数



参加無料

伊那市・箕輪町・南箕輪村に空き家をお持ちの方

伊那・箕輪・南箕輪 空き家の総合相談会

相続・権利関係 | リフォームする

売る・貸す | 解体する

空き家になってしばらく経つけど売れるの？ 古い家だけ直して貸せる？
 相続登記ってどうすればいいの？ 金額はどれくらいかかるの？
 住居のないお店だけでも貸せるの？
 解体したほうが良いの？ そのまま売ったほうが良いの？

相続 不動産 解体・片付け リフォーム
 の専門業者が疑問にお答えします

日時 2024年3月3日（日）13：30～16：00
 （最終受付：15：30）

会場 南箕輪村民センター 2階大会議室
 （南箕輪村4840番地1 南箕輪村役場 隣）

申込 事前予約が必要となります（下記お問い合わせ先まで事前予約）
 ※当日は事前の参加申込書をご用意の上でご参加ください。
 ※予約なしでもご参加いただけますが、予約状況によりお待ちいただく場合があります。

空き家の総合相談会
 年2回開催（8月、3月）

伊那地域 空き家バンク

伊那市・南箕輪村・箕輪町の 空き家情報

物件をお探しの方

- 中古住宅を探す
- 借家を探す
- 土地を探す

物件をお持ちの方

- 売りたい方
- 貸したい方

空き家バンクについて
 サイト利用方法
 個人情報保護方針
 イベント情報・見学会
 空き家のお話あれこれ
 お問い合わせ

伊那地域ってどんなところ？
 私たちが伊那地域に決めた理由

TOPICS

- 2024-06-17 住まい 伊那市山寺（伊396）に売買物件が公開されました
- 2024-06-12 住まい 物件調査（伊那市西寄近：2024/6/3）

伊那地域空き家バンクホームページ
 （伊那地域定住自立圏：伊那市・箕輪町・南箕輪村）

(4) 過疎地域定住促進補助金・田舎暮らしモデル地域補助金

過疎地域…高遠町区域、長谷区域 田舎暮らしモデル地域…新山、長谷溝口、伊那西、手良

区分	交付対象者(全てに該当する者に限る。)	対象事業及び交付額
住宅新築等補助金	(1)若者等又は若者等を配偶者に持つ者並びに中学生以下の子を持つ者 (2)対象地域において住宅の新築又は増改築を行い、かつ、対象地域に住所を有し、定住する意思が認められること。 (3)自治会に加入し、地域活動に参加する意思が認められること。 (4)新築又は増改築を行う住宅の所有権を有すること。	対象地域の住宅の新築又は増改築のいずれかを行う事業に要する経費の10分の2以内(上限150万円)
空き家取得等補助金	(1)若者等又は若者等を配偶者に持つ者並びに中学生以下の子を持つ者 (2)対象地域の空き家の取得又は増改築を行った後、当該住宅に住所を有し、定住する意思が認められること。 (3)自治会に加入し、地域活動に参加する意思が認められること。 (4)取得又は増改築を行う住宅の所有権を有すること。ただし、増改築の場合は、賃借権又は使用借権を有する者を含むものとする。	対象地域の空き家の取得又は増改築のいずれかを行う事業に要する経費の10分の2以内(上限150万円)
定住助成金	(1)若者等又は45歳以下の者を含む世帯の代表者 (2)IターンまたはUターンをした者が、対象地域に住所を有した後、1年を経過しており定住の意思が認められること。 (3)自治会に加入し、地域活動に参加する意思が認められること。 (4)この助成金又は、同種の助成金の交付を受けていないこと。	(1)1世帯につき15万円 (Uターン世帯は10万円) (2)中学生以下の子ども1人につき2万円を加算 (3)単身世帯又は単身者は7万円(Uターンした単身世帯又は単身者は5万円)
通勤助成金	(1)対象地域のうち高遠町三義地区、長谷区域及び田舎暮らしモデル地域に住所を有し、定住する意思が認められる若者等 (2)高遠町区域、長谷区域及び田舎暮らしモデル地域以外の事業所等に就職し、通勤距離が片道10キロメートルを超えていること。 (3)4月から翌年3月までの1年間を通じ、継続して通勤すること。	片道10kmを超える1km(1km未満の端数は切り捨て)につき、月額300円(1月につき上限5,000円)
出産祝金	子どもの出生時に対象地域に住所を有し、定住する意思がある保護者 ※令和5年度より市内全域に拡大	第1子3万円、第2子5万円、第3子7万円、第4子以降1人につき10万円
廃屋取壊し事業補助金	対象地域の廃屋の所有者	対象地域の廃屋を取壊す事業に要する経費の10分の1以内(上限10万円)

※若者：15歳以上45歳以下の者

(5) 田舎暮らしモデル地域

目 的

移住・定住の促進を図るため、その受け皿として高い意欲を有する地域を「田舎暮らしモデル地域」として指定し、地域、行政、民間事業者などの協働により、移住者に対する受入体制の整備や生活基盤の確立に向けた支援を行う。

○対象区域

人口減少及び過疎化の進行が見られ、移住・定住対策に積極的に取り組んでいる区域で、区の単位を原則とし、複数区にまたがる場合は、各区長を構成員に含む協議組織が設置されていること。

○指定の要件

- (1) 区又は協議組織の承認が得られていること。
- (2) 移住者からの様々な相談に応じ、助言や指導及び協力ができる人材がいること。
- (3) 地域活動において地域住民及び移住者がともに活動できる体制が整備されていること。
- (4) 地域住民自らの企画・運営により、都市との交流を目的とした事業や地域課題の解決に向けた事業を実施する意思があること。

○移住者の役割

- (1) 積極的に地域活動に参画し、地域貢献を行うこと。
- (2) 自らの田舎暮らしに係る情報を発信すること。

○地域住民の役割

- (1) 移住者の積極的な受入れを図ること。
- (2) 都市住民との交流促進や地域課題の解決を図ること。

○指定期間

10年間

○指定地域

【新山地域】	240 世帯	621 人	(平成 27 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日) ※H28 に長野県の移住モデル地域に指定 (R2 更新)
【長谷溝口区】	150 世帯	383 人	(平成 28 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)
【伊那西地区】	460 世帯	1,114 人	(令和 3 年 7 月 1 日～令和 13 年 3 月 31 日)
【手良地区】	815 世帯	2,017 人	(令和 6 年 7 月 1 日～令和 16 年 3 月 31 日)

○支援策

【住民】(過疎地域と同率・同額) ※出産祝い金以外は 45 歳以下の者が対象

- ・住宅新築増改築補助金 事業費の 10 分の 2 以内 (最大 150 万円)
- ・住宅取得補助金 事業費の 10 分の 2 以内 (最大 150 万円)
- ・定住助成金 1 世帯 10～15 万円 + 2 万円 × 中学生以下 (単身 5～7 万円)
- ・通勤助成金 1 月あたり 10 km 以上 300 円/km (最大 5,000 円/月)

【団体】

- ・区または協議会への交付金 50 万円/年

(6) 田舎暮らしモデルハウス (短期移住体験施設)

田舎暮らしモデルハウスは生活スタイルの変化に対応します。

吹き抜け部分に床板を張り、間仕切を追加することで、お子さんの成長や家族構成の変化など、希望に沿った柔軟な対応が可能です。

▼基本モデルプラン (お試し暮らし施設)



▼子供たちが小さい時期



▼子供たちが学校に通う時期



▼子供たちも独立し、人生の第2ステージへ...



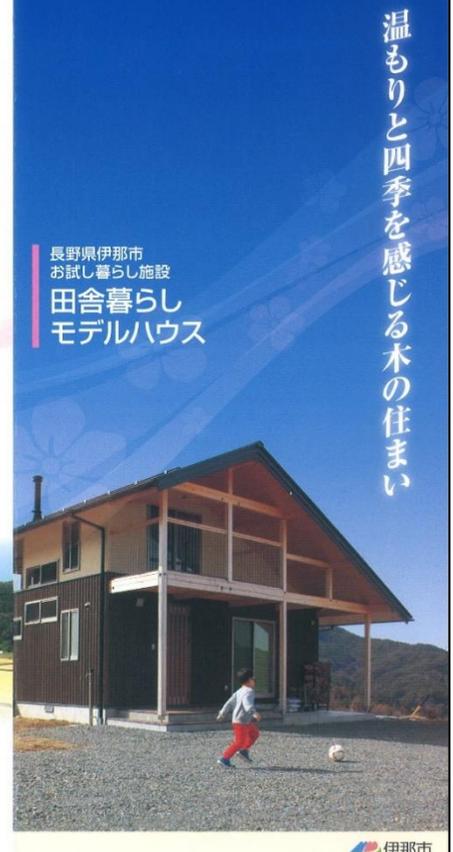
田舎暮らしモデル地域

伊那市では、市内への移住・定住の促進を図るため、その受け皿として高い意欲を有する地域を「田舎暮らしモデル地域」として指定しています。
モデルハウスが建っている新山地区は、「田舎暮らしモデル地域」第1号に指定されました。
地域の住民により、結成された「新山定住促進協議会」は、総務部会・子育て応援部会・田舎暮らしサポート部会・住まい整備部会を設け、新山地区での子育てや移住・定住をサポートしています。

お問い合わせ

- お試し暮らしがしたい場合
伊那市役所 企画部 地域創造課
電話：0265-78-4111 (内線：2155,2252)
- 田舎暮らしモデルハウスを建てたい場合
伊那市役所 農林部 耕地林務課
電話：0265-78-4111 (内線：2416,2417)

移住・定住応援サイト「伊那に住む」
<http://www.inacity.jp/iju/>



木の香りが心地よく、窓から見える森の変化で四季を感じることができます



田舎暮らしモデルハウスは、地域の交流の場として利用するほか、田舎暮らしの機会創出と都市からの移住を促進するため、「お試し暮らし施設」として活用します。

お試し暮らしについて

- 宿泊期間は、原則3泊4日以内
- 利用料は1泊4,000円/1家族(9人まで)
- 寝具、洗面用具、食材などは各自で用意してください。
- 冷蔵庫、洗濯機、IHキッチン、食器類、WiFi等ご利用いただけます。

宿泊できる方

- ① 伊那市を移住候補地として検討している方
- ② 移住・定住相談窓口などにおいて、事前に移住相談を受けた方または、受ける予定のある方
- ③ 利用中に、モデルハウスが所在する地域の自治会行事などへ参加する意欲がある方
- ④ 利用中に、モデルハウスを利用した行事に参加できる方

宿泊までの流れ

- ① 利用を希望する場合は、電話での仮予約をお願いします。
- ② 利用日の14日前までに、利用申込書をご記入のうえ、申込者の住所がわかる書類の写し(運転免許証又は住民票の写し)を添えて郵送にてお申し込みください。
- ③ 申込書の内容を確認後、決定通知を郵送します。
- ④ 利用当日は、地域創造課窓口でカギの引渡し及び詳細説明を受けてから利用を開始してください。

宿泊期間中の●保育園・小学校の見学 ●空き家バンク登録物件の見学 ●就職相談 など、ご不明な点はこちらにご相談ください。

利用者の声

●愛知県在住のご家族



とても静かな環境なので、家族でゆっくり移住について話し合う時間が作れました。「住宅を新築して薪ストーブのある暮らしがしたい」と思っているので、利用期間中は、市内の空き土地を見て回り、また、薪ストーブの温もりや薪割りも体験できたので、利用前よりも生活のイメージが膨らみました。

●埼玉県在住のご夫婦



滞在期間中は、移住相談窓口を訪問したほか、モデルハウスがある新山地区や移住後に入居予定の住宅周辺を探索しました。開放的なキッチンでは、地元産の新鮮な野菜を使って、楽しく料理ができたことや、さらに地域の方とも知り合うこともできたので、充実した時間を過ごすことができました。

地域材を使用し、豊かな自然と森林の魅力を感じる居住空間



薪ストーブ・ペレットストーブのある暮らし

伊那の間伐材で作った薪や木質ペレットで暖をとる。地域の森林資源を地域で消費し循環させることで、環境に優しいエネルギーを生み出すことができます。ゆっくりと燃える薪ストーブの炎は、温もりだけでなく心にも安らぎも与えてくれます。



ペレットストーブ：山本製作所「ほのか」

- モデルハウス仕様
平成27年12月完成
総内部面積：2階建 79.5㎡(24.0坪)
敷地面積：713.6㎡(99.215坪)
木材使用量：檜(ヒノキ) 4.6㎡
アカマツ 0.9㎡
杉(スギ) 12.6㎡

(7) 移住体験住宅（中期移住体験施設）

移住・定住の促進及び関係人口の増加による地域活性化を図るため、移住希望者に一定期間伊那市での生活を体験いただく伊那市移住体験住宅を提供します。

- 施設名 移住体験住宅1号・2号（伊那市山寺2545番地9、10）
- 面積 各37.27㎡（1DK）
- 使用料 25,000円（最長1か月） ※光熱水費込み
- 設備 家電、布団、自転車、ケーブルテレビ、Wi-Fi完備
- 特徴 中心市街地まで徒歩10分（市街地循環バスや鉄道の駅にも近く、車がなくても生活可能）



- 施設名 移住体験住宅3号・4号（伊那市高遠町西高遠486番地2）
- 面積 各61.56㎡（3DK）
- 使用料 30,000円（最長1か月） ※光熱水費込み
- 設備 家電、布団、自転車、ケーブルテレビ、Wi-Fi完備
- 特徴 スーパー、コンビニまで徒歩10分（JRバス（高遠駅）も近く便利）
※別途：シーツのクリーニング代、冬季の灯油代



(8) 移住希望者向け仮住戸（移住準備の住宅支援）

伊那市への移住・定住をご検討されている方へ住まい確保や就職のための第一歩として、市営住宅を移住・定住準備のための仮住宅として6か月間家賃を半額で提供します。（仮住宅入居期間は原則として1年）

○主な物件



小原北住宅

（伊那市高遠町小原593番地1）



ハイツ瀬戸

（伊那市高遠町小原999番地1）



中島団地

（伊那市長谷溝口790番地5ほか）

○入居要件

- ・所得要件 前年度の所得が104,001円（1か月あたり）以上の世帯
- ・住所要件 伊那市外に住所を有し、移住後当該地に住所を移せる者
- ・世帯要件 同居する親族がある世帯（世帯主が45歳以下の夫婦又は中学生以下の子がいる世帯）
- ・居住期間 原則6か月（敷金の徴収なし、退去修繕（畳の表替え、ハウスクリーニング等）入居者負担）
- ・家賃 月額15,000円～20,000円（住戸により異なる、ハイツ瀬戸は共益費（月額1,000円）別途）
- ・納入時期 前月末日まで
- ・居住要件 地域の自治会に加入し、地域活動に参加できる者
- ・完納証明 前住所地で税などの滞納がない者
- ・保証人 1名（3親等以内の親族、住所は限定しない）

○その他

- ・家電などの設置なし
- ・光熱水費は入居者負担
- ・駐車場あり（1台分）
- ・ペット（犬、猫など）飼育不可

(9) 移住準備住宅

伊那市への移住・定住をご検討されている方で、主に伊那小学校・伊那西小学校への通学を希望する世帯を対象に、移住準備住宅を提供します。

○入居資格

- ・ 住所要件 伊那市外に住所を有し、移住後当該地に住所を移せる者
- ・ 世帯要件 世帯主が45歳以下又は配偶者が45歳以下若しくは小学生以下の子がいる世帯
- ・ 居住期間 原則1年以内(やむを得ない事情等により、最長2年以内)
- ・ 使用料 ますみヶ丘(A棟・B棟)、長谷(E棟) 月額15,000円
山寺(C棟・D棟) 月額20,000円
- ・ 居住要件 地域の自治会に加入し、地域活動に参加できる者



(10) 田舎暮らし住宅、若者・子育て向け住宅

若い世代や子育て世代向けの住宅を整備し、定住に向けた支援を行っています。



田舎暮らし住宅

- ・ 3棟
- ・ 2LDK(67㎡)
- ・ 月額25,000円
- ・ 利用期間2年



若者・子育て向け住宅

- ・ 1棟20世帯
- ・ 2LDK(60.8㎡)
- ・ 月額50,000円

(11) 子育て住まいる（市営住宅の子育て支援）

平成28年4月から、子育て世代の世帯を対象に、高遠町地区および長谷地区並びに若宮にある市営住宅（中堅所得者層向け住宅）へ入居しやすく入居要件を緩和しました。また、入居後は家賃を軽減し、経済的な支援も行っています。

○入居資格の所得基準額の引き下げ

現在、入居を希望する世帯の人数により所得基準を決めていますが、入居する人数にかかわらず、世帯全員の前年の合計所得が1,476,000円を超えていることとします。

対象 中学生以下のお子さんのいる世帯、または入居者と同居者のいずれもが40歳未満の世帯

○家賃の軽減

対象 中学生以下のお子さんのいる世帯

家賃軽減額 通常の月額家賃を2割軽減します。

軽減期間 以下のどちらかの短い期間とします。

- ・ 令和9年3月まで
- ・ 末子が中学校を卒業するまで

○その他

すでに該当する住宅に入居している夫婦のみの世帯にお子さんの出生があった場合も家賃軽減の対象となりますので、異動届を提出してください。（異動届の提出があった翌月から軽減します。）

(12) 結婚支援

伊那市は行政が行う結婚相談窓口として「いなし出会いサポートセンター」を設置し、3名の専門相談員(集落支援員 であいサポーター 等)を配置し、結婚相談や縁結びの支援を行っています。

また、結婚に伴い新たな生活を始める世帯の経済的な不安を軽減し、若い世代の定住促進と少子化対策の強化を図るため、結婚に伴う住居費やリフォーム費用、引越費用の一部を支援しています。

さらに、移住婚活を導入し、利用者の多様なニーズに寄り添った支援を行っています。

○ 出会いサポートセンター

- 対 象 伊那市にお住まい(住民票がある方)または勤務する 20 歳以上の独身者
市外在住者であっても結婚後、伊那市に定住する意思のある 20 歳以上の独身者
- 登 録 料 無料
- 開所日時 火曜日・木曜日:午前 10 時から午後4時まで 土曜日:午前9時から午後5時まで
(いずれも祝日及び 12 月 29 日から1月3日を除く)
- 場 所 いなし出会いサポートセンター(伊那市荒井 3417 番地2(伊那図書館 1 階))

○ 結婚新生活支援事業

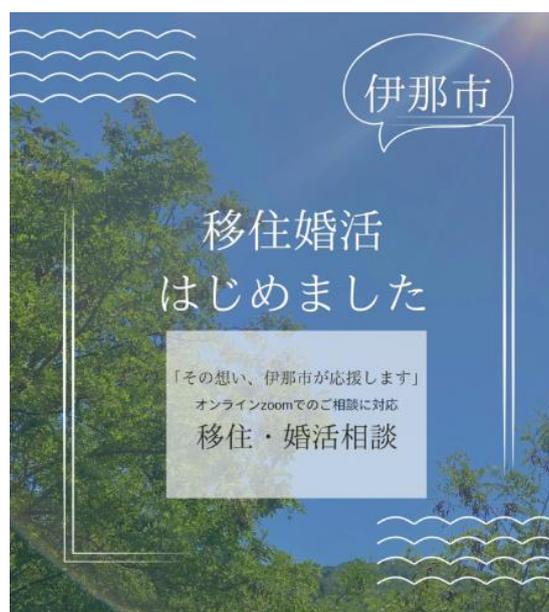
対象となる費用

- ・ 住宅取得または建築工事に要した費用
- ・ 住宅の賃借に要した費用(賃料、共益費、敷金、礼金、保証金、仲介手数料)
- ・ 住宅のリフォーム工事に要した費用
- ・ 引越に要した費用(引越事業者や運送事業者に支払った費用)

補 助 額

- ・ 夫婦ともに 29 歳以下の世帯 最大 60 万円
- ・ 夫婦ともに 39 歳以下の世帯 最大 30 万円

○ 移住婚



(13) 地域おこし協力隊・集落支援員

地域おこし協力隊【20名】

(令和6年4月末までに26名が卒隊し19名が定住)

ミッション名	業務概要	氏名	主な活動内容
子どもの学び応援隊 【市内全域】 (R3. 1. 1～) 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 学校のICT・IoT活用教育の支援や教員のICT活用スキルの向上支援 学びを通じた魅力発信 	 あさり ふみ 浅利 芙美	<ul style="list-style-type: none"> 学校におけるICT・IoTを活用した教育支援・研修の実施 関係機関や企業等との連携した授業のコーディネート ICT活用スキル向上支援 学びを通じた学校や地域等の魅力発信 など
伊那西地域 応援サポーター 【伊那西】 (R3. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> 田舎暮らしモデル地域化や活動支援 地域や伊那西小と連携した移住定住の促進 地域の魅力発信 	 いしだ けんすけ 石田 健祐	<ul style="list-style-type: none"> 伊那西地区田舎暮らしモデル地域の活動支援 伊那西地区を考える会や地元自治会、伊那西小学校等と連携した地域活性化活動 移住・定住支援や地域の魅力発信 など
伊那あそびクリエイター 【市内全域】 (R3. 4. 1～) 観光課	<ul style="list-style-type: none"> アクティビティ等の横断的な魅力創出や相乗的な誘客 観光プログラムの企画実施や自転車活用 	 いしい もとひろ 石井 基裕	<ul style="list-style-type: none"> アクティビティ等の横のつながりによる魅力創出や誘客 「伊那であそぶ」「街まるごと遊園地」化による魅力創出 アクティビティ・体験施設をによる観光プログラムの企画及び実施 など
城下町高遠 コンシェルジュ 【高遠町】 (R3. 4. 1～) 高遠商工観光課	<ul style="list-style-type: none"> 町全体の宿泊機能構築 新たな観光資源を加えた城下町のテーマパーク化 観光名所となる城下町づくり 	 よしざわ ゆうか 吉澤 祐佳	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊、飲食、商店街等を結んだ、町全体にホテル機能構成 新たな観光資源を加えた城下町のテーマパーク化の実現 日本で最も美しい村推進
伊那市教育の魅力発信 【市内全域】 (R4. 4. 1～) 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育活動のオンライン配信補助 学校HPの充実 ICT活用教育支援 教育イベントの企画・運営 学校教育活動の情報発信 	 はらだ しんたろう 原田 伸太郎	<ul style="list-style-type: none"> 授業や行事などの学校教育活動におけるオンライン配信補助 各小学校等のホームページの充実 学校におけるICT活動教育の支援 など
伊那谷サステイナブル 農業推進隊 【市内全域】 (R4. 4. 1～) 農政課	<ul style="list-style-type: none"> 長谷地域を核としたサステイナブル農業の推進 原料の生産振興、農ある暮らしによる移住定住促進 製品の流通と人流による地域振興 	 むらなか ひとみ 村中 ひとみ	<ul style="list-style-type: none"> 長谷地域を核としたサステイナブルな農業への取組 販路の確保や原料商品の生産振興 長谷地域における農ある暮らしの推進 など

ミッション名	業務概要	氏名	主な活動内容
農家民泊デザイナー 【市内全域】 (R4. 4. 1～) 観光課	<ul style="list-style-type: none"> 体験型教育旅行事業 PR や受入実施 受入農家間の交流促進や掘起しと開業支援 個人利用プランや農業体験プランの企画・実施 	 しのざき のぞみ 篠崎 希	<ul style="list-style-type: none"> 体験型教育旅行事業の PR、受入れ実施 受け入れ農家間の交流促進 一般利用者向け農家民泊個人利用プランや農業体験プランの企画・実施など
50年の森林まるごと マッチングプロジェクト 【市内全域】 (R4. 5. 1～) 50年の森林推進課	<ul style="list-style-type: none"> 50年の森林ビジョン実行計画に基づいた地域材活用マッチング 販路開拓による地域材の利用促進 	 はしもと けいた 橋本 圭太	<ul style="list-style-type: none"> 地域の林業・木材産業の振興 林業事業体との連携による森林所有者への活用意向調査の実施 林業事業体や製材業者、工務店等地域材活用マッチングや地域材の利用促進など
伊那谷農林産物イノベーター 【市内全域】 (R5. 1. 1～) 農政課	<ul style="list-style-type: none"> 伊那谷地域の農林産物を有効活用した商品開発 高品質な農林産物 PR、ブランド化の推進 	 つくだ なつこ 佃 夏子	<ul style="list-style-type: none"> 農林産物を有効活用した新たな商品の開発 農林産物の PR、ブランド化推進 未利用農林産物の活用による価値の創造
新山地域応援サポーター 【新山地域】 (R5. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> 新山地域応援事業の推進 田舎暮らしモデル地域事業の支援 地元等との連携による地域活性化 	 よしだ ももか 吉田 百花	<ul style="list-style-type: none"> 田舎暮らしモデル地域の支援や移住・定住の支援 地元や保育園、小学校等との連携による地域活性化に向けた活動 田舎暮らしモデルハウスの活用や管理
つながり人口クリエイター 【市内全域】 (R5. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとワーキングホリデーの推進効果検証 若者と地域の接点づくりと地域への愛着醸成支援 	 ぼく ぼ なるみ 朴 南 淳	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとワーキングホリデー推進及び効果検証 若者と地域との接点づくりによる地域への愛着醸成支援 若者と地元企業を繋ぐ機会の創出や魅力発信
伊那から減らそう CO ₂ 促進 【市内全域】 (R5. 4. 1～) 生活環境課	市民に向けた脱炭素の取り組み促進や、二酸化炭素排出削減に向けた情報発信	 つつみ ようこ 堤 耀子	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業を中心に事業者の脱炭素の取り組み促進 市民に向けた脱炭素の取り組み促進 二酸化炭素排出削減に向けた各種情報発信
古文書のデジタル化 及び活用 【市内全域】 (R5. 4. 1～) 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 市内に保存されている古文書等の整理・収集 デジタル化・解説 伊那市の歴史や文化の魅力発信 	 まえだ かずひろ 前田 和 弘	<ul style="list-style-type: none"> 市内に保存されている古文書等の整理・収集やデジタル化解読 整理済の古文書の公開、閲覧の対応 デジタル化した資料を活用したイベント、講座等の企画、実施

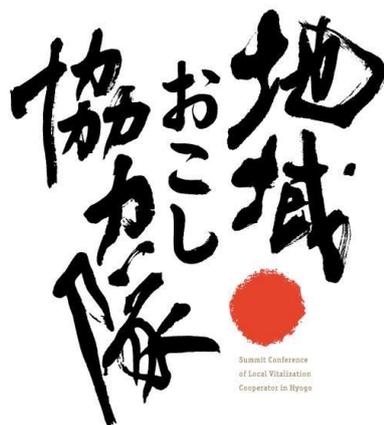
ミッション名	業務概要	氏名	主な活動内容
<p>Inadani sees 森のインキュベーター 【市内全域】</p> <p>(R5. 9. 1～) 50年の森林推進課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Inadani seesの企画・運営 ・起業支援サポート ・企業精神を育てるイベントの企画・運営 	 <p>つかだ りな 塚田 里菜</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Inadani seesの企画・運営や起業支援サポート ・地域の林業、木材産業の振興、人材育成 ・林業、木材産業と福祉分野等異業種とのマッチング
<p>みはらしファーム活性化プロジェクト 【西箕輪】</p> <p>(R6. 4. 1～) 農政課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みはらしファームの運営管理やイベント企画 ・はびろ農業公園管理組合構成団体との連携 	 <p>ももい やえ 桃井 八重</p>	令和6年度採用
<p>高遠石工まちづくり 研究員 【市内全域】</p> <p>(R6. 4. 1～) 観光課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高遠石工研究センターの広報 ・高遠石工等を活用した経済効果を高める取組み 	 <p>やまもと ゆうすけ 山本 祐介</p>	令和6年度採用
<p>未来の教育 コーディネーター 【市内全域】</p> <p>(R6. 4. 1～) 学校教育課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フィンランド教育の研究や学べる機会の創出 ・フィンランドの教員や子どもとの交流の場の創出 	 <p>やまもと かざね 山本 風音</p>	令和6年度採用
<p>信州そばNo.1プロジェクト 【市内全域】</p> <p>(R6. 4. 1～) 観光課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・信州そばNo.1プロジェクトの推進 ・事業者・団体との連携を深めたそばの普及活動・情報発信 	 <p>しもだいら あやか 下平 彩楓</p>	令和6年度採用
<p>南アルプス北部 登山道保全プロジェクト 【南アルプス北部】</p> <p>(R6. 4. 1～) 南アルプス課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス北部の登山道整備、自然保護活動に対するマインド・ノウハウの継承 ・登山者参加型のイベント企画・実施 	 <p>ひらの りょう 平野 僚</p>	令和6年度採用
<p>南アルプス山と人の コミュニケーター 【高遠町・長谷】</p> <p>(R6. 4. 1～) 南アルプス課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス山麓や山里の情報発信 ・地域住民協働によるイベント、体験プログラムの運営 ・グッズやコラボ商品の開発・販売 	 <p>のだ なおこ 野田 直子</p>	令和6年度採用

集落支援員【 17名 】

ミッション名	業務概要	氏名	活動内容
交通・物流 コラボレーター (H31. 4. 1～) 企画政策課	新産業技術を活用した交通・ 物流のボランティアネット ワークと物流の仕組づくり	 いとう きゆり 伊藤 小百合	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローン物流事業化に関する支援 ・ICTの活用・普及に向けた支援 ・AI 最適運行・自動配車サービス事業化に関する支援 ・その他新産業技術による集落支援
仕事と住まいの コーディネーター (R3. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・現状分析による具体的な政策展開 ・空き家の利活用の促進 ・空き家バンク制度の推進 	 こぶち ゆきてる 小淵 幸輝	<ul style="list-style-type: none"> ・現状分析による具体的な人口増加に向けた政策展開 ・空き家バンク情報発信及び案内 ・不動産業者との連絡調整 ・空き家利用希望者との連絡調整
行政サービス 支援員 (R3. 12. 1～) 企画政策課	モバイル市役所を活用し、 市民に寄り添いながら行政 手続等の案内やサポート	 かねこ はるみ 兼子 はるみ	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる行政手続等の案内やサポート ・選挙時の移動期日前投票所の開設支援 ・マイナンバーカードの普及促進活動 ・その他新産業技術による集落支援
移住・定住 コーディネーター (R4. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住に向けた総合的な相談、セミナー・イベント等の開催や情報発信 ・地域おこし協力隊のマネジメント 	 ふじい かおり 藤井 香織	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎暮らしモデル地域との連携 ・移住・定住相談 ・移住・定住セミナー等の企画、実施 ・地域おこし協力隊員の活動状況把握、協力体制の構築 など
ワーケーション リーダー (R4. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーションの推進 ・テレワークや二地域居住など新たな働き方の提案 ・地元企業との連携による求人情報収集 	 くどう あずさ 工藤 あずさ	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク（サードオフィスやワーケーションなど）や二地域居住など、新たな働き方の提案・マッチング ・ワーケーションコンテンツの構築 ・モバイルオフィスの運用支援
行政サービス 支援員 (R4. 4. 1～) 企画政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・モバイル公民館を活用した高齢者や外出機会が少ない方の交流機会の創出 ・地域福祉の増進 	 みやした ともみ 宮下 智美	<ul style="list-style-type: none"> ・モバイル公民館開設に向けた調整・企画 ・その他新産業技術による集落支援
長谷地域 農業連携支援員 (R4. 4. 1～) 長谷農林建設課	<ul style="list-style-type: none"> ・長谷地域の農業と直売所、小中学校との連携 ・外部人材の活用による地域振興 ・長谷さんさん協議会の事務局運営 	 はば ゆりえ 羽場 友理枝	<ul style="list-style-type: none"> ・長谷地域の農業と直売所、小中学校との連携および外部人材の活用 ・長谷さんさん協議会事務局 ・営農組合と道の駅直売所との連携調整 ・農業関係交付金の申請補助
逃げ遅れゼロを 目指す地域づくり 支援員 (R4. 7. 1～) 社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の災害実情に応じた集落の維持・支援 ・地域自主防災組織との連携による地域支援 	 ひらいわ なつみ 平岩 なつみ	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の状況調査及び点検 ・特に支援が必要な人について、個別避難計画作成におけるサポート ・要支援者と地域等との結び付け支援

ミッション名	業務概要	氏名	活動内容
デジタルローカル デザイナー (R4. 11. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> 住民の情報リテラシーの把握、検証 オープンデータの活用による行政サービスの改善や市民サービスの支援 	 もろた かずゆき 諸田 和幸	<ul style="list-style-type: none"> 市民の情報リテラシーの現状把握による工場施策の考案・実施 デジタル行政サービスツールの運用・改善 オープンデータ利活用による市民サービスの支援
地域ブランド推進 デザイナー (R5. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> 市内の観光や文化など魅力あるコンテンツの集約 地域ブランドのコンセプト形成、推進 	 たかはし たかふみ 高橋 隆文	<ul style="list-style-type: none"> 市内の観光や文化などのコンテンツ集約及び関係機関との連携 地域ブランドのコンセプトの形成、推進 郷土愛や地域住民の一体感の醸成に関連したセミナー等の開催やイベント等への参加
観光 MaaS 推進 ディレクター (R5. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> 観光型 MaaS のサービス構築のための観光関係者等との連携 地域住民、地元企業等への情報収集 	 ひらやま ゆうき 平山 雄貴	<ul style="list-style-type: none"> 観光型 MaaS のサービス構築 観光関係者との連携（交通、商店、旅館など）による魅力創出 地元企業との連携による求人等の情報収集
教育移住支援員 (R5. 4. 1～) 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 教育移住に対応した学校見学や相談 学校と地域との連携・支援 	 はら まさひこ 原 正彦	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の見学、相談の対応 教育のマッチングやフォロー 小学校の最新情報の発信 学校や地域との連携
であいサポーター (R6. 4. 1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> 移住婚の推進による出会いの機会の創出 婚活イベント企画運営 移住定住の促進や関係人口創出による結婚事業の推進 	 ももせ ゆかり 百瀬 由香里	令和6年度採用
有機給食 コーディネーター (R6. 4. 1～) 農政課	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食へ有機食材を導入するための支援 東部地域農業振興センター支援 中山間地農業推進対策の支援 	 みやけ のどか 三宅 のどか	令和6年度採用
多文化共生推進 (R6. 4. 1～) 文化交流課	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室の充実 外国人コミュニティと地域住民との連携 外国人住民との交流の場の創出 	 うとなん しーり さ 宇戸ナンシー理沙	令和6年度採用

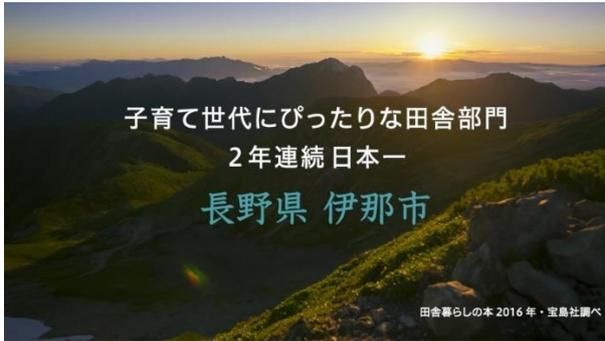
ミッション名	業務概要	氏名	活動内容
新しいまちづくり コーディネーター (R6.7.1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、活動団体、地元企業、市民等との連携による新しいまちづくりの推進 ・新しいまちづくりに関する多様な意見の集約 ・まちづくりに関連したイベントの開催・支援 	 まさかね りょうこ 政金 僚子	令和6年度採用
フィンランド 森と学び コーディネーター (R6.9.1～) 地域創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・フィンランド関係機関と市活動団体、地元企業、市民、大学及び研究機関等の連携推進 ・多様な意見及び情報集約・整理、連絡調整 ・産学官民の協業発掘、連携可能性創出及び具現化に向けた支援 	 ひらかわ みなみ 平川 真奈美	令和6年度採用



3 情報発信について

(1) プロモーション動画・テレビ番組

○プロモーション動画 「イーナ・ムービーズ ～なつかしい未来～」(四季編・そば編・森編)



森編：森のこえ

○テレビ東京

「旅スルおつかれさま ～ハーフタイムツアーズ～」



○日本テレビ “ZIP!”

「飯尾和樹の妄想移住ファイル」



○日本テレビ“世界一受けたい授業”

「人気移住地市町村ランキング」



○日本テレビ“ヒルナンデス”

「移住のホンネ」



(2) 雑誌広告掲載



田舎暮らしの本



ハイウェイマップ

(3) 移住セミナー

目的：市の魅力発信及び市内で開催する移住体験ツアーへの誘導

○国、県、民間団体等との連携



「いなスタ 〜いなか暮らしスタイル〜」(大阪)
溝口未来プロジェクト(田舎暮らしモデル地区)



「ふるさと回帰フェア」(東京)
第2・第3保育園と地域の未来を考える会

○上伊那広域連合との連携



移住セミナーへの共同出展
(ふるさと回帰フェア)



オリジナルブックカバー
(都内書店で配布)

○市単独セミナー

森と触れ合う移住セミナー
～長野県伊那市の子育て・学び・しごと～

森には楽しみが
たくさんあるぞ～

主催：長野県伊那市 共催：認定NPO法人ふるさと回帰支援センター

参加費無料

3/23(土) 13:00～15:30

定員20名(要事前申込)
@ふるさと回帰支援センター
(JR有楽町駅前 東京交通会館9階)

セミナー講師

穂高 かおるさん
(竜西保育園長)
伊那市の中心地にはあるべき保育施設、広い園庭、近隣には公園。身近にある環境を生かして自然と触れ合える保育を行う。

二木 栄次さん
(伊那西小学校長)
異アムプスの転校がきっかけで伊那市の西部地区にある伊那市立の小学校。園には手触れがあり、遊具、学び、豊かな土の恵として活用し、教育を行っている。

株式会社やまとわ
企業理念は「森をつくる暮らしをつくる」。知恵の木を思った道具づくり。木こりを育てる森林職人と様々な事業を展開。伊那西小学校の森の活用に関与したコーディネート担当。

やまとわ

14:00～15:30 ワークショップ&個別相談

★参加申込は、右側のQRコードからイベントHPへジャンプして入力いただくか、伊那市 移住・定住相談窓口までご連絡ください。

イベントHP (ふるさと回帰支援センターHP内)
http://www.furusotokaki.net/seminar_detail/?event_id=119058

お問い合せ…伊那市 地域創造課 移住・定住相談窓口
TEL: 0268-78-4111 (内線115、2252)
移住応援サイト「伊那に住む」 <http://www.inacity.jp/iju/>



(4) 移住体験ツアー



スケジュール

長谷保育園の保育参観
豊かな自然を活用した保育を実施する保育園。地域との交流も盛んで、地元の方が運送のために運営している「くじら農園」で作った農作物を使った食育活動も実施。実際の保育園風景を見学。

伊那小学校の授業参観(給食の試食も)
通知書がない、時刻表がない市立の小学校。総合学習を軸に様々な教育に取り組んでいる。2月に行われる公開授業には全国から教職員が訪れる。当日は授業の見学と、給食も食べます!

移住パパママ座談会@赤石商店
移住者、在住者を変えて暮らしている方の経験談を聞け。子育てしている方の生の声を聞きながら、移住や子育てに関する不安を共有しましょう。会場は移住者が開業したゲストハウス。

パパママ座談会 スピーカー紹介
井嶋 由香さん
2015年に東京から地元である伊那市にUターン。本業であるライターの傍ら、子育て期のママなどの在宅ワーク支援事業にも関わっている。38歳。高1男子、中2女子の子育て中。

伊那 歌也さん
伊那市長谷出身。在住、長谷を愛してやまない40歳。許半は長谷中学校のPTA会長を務め、長谷学区地域交流会いひの会などで活動している。19歳、13歳の2人の子供がいます。

翌日開催!
3町町会合同空き家バンクツアー 伊那市、箕輪町、青箕輪村の空き家バンクの物件の見学ツアーを開催!
【集合】8月25日(土) 9:00
【解散】8月25日(土) 12:00
【集合・解散場所】伊那市箕輪町の箕輪町役場
詳細は「伊那地域空き家バンクHP」で!

集合 8月24日(金) 10:15 【集合・解散場所】伊那バスターミナル
解散 8月24日(金) 16:45

【参加費】1人270円(税込) (他県代別費)
【申込方法】裏面申込書をFAX又はメールにてお送りください。
【申込期限】平成30年8月15日まで(定員4名 応募多数の場合は抽選)

主催：長野県 伊那市

← 伊那小学校



↑ 給食の試食

授業参観 →



赤石商店



← パパママ座談会

野人さん宅



↓ 壁塗り体験 →



1日目 土壁塗り体験
野人さんの自宅の土壁を塗ります。土をこね、コテに貼せ、塗る一連の作業を野人さんに教わりながら行います。お子様も大歓迎! 野人さんの畑の野菜も試食します。

講師紹介 鈴木 良さん(野人さん)
愛知県出身。大学進学を機に長野県で生活を始める。8年前に伊那市箕輪町に築150年の古民家を再生し、古民家再生取得し、自身でリノベーションを行いながら、生活している。現在は高校教員。

2日目 空き家探訪
野人さんと一緒に空き家物件を見て回ります。セルフリノベーションを行ったからこそ分かる情報のポイントを野人さんから教習いただきます。

【参加費】1人7,000円
【集合】7月21日(土) 13:00 【解散】7月22日(日) 12:00
【申込方法】裏面の申込書をFAX又はメールにてお送りください。
【申込期限】平成30年7月18日まで(定員4名 応募多数の場合は抽選)

主催：長野県 伊那市

(5) オンライン移住セミナー・移住ツアー

【信州伊那谷×教育移住】学校見学オンラインツアー-VOL.1

通知表のない小学校で 育つ子どもたち

オンラインセミナー

自然豊かな環境で
子どもをのびのびと育てたい
そんなあなたに

2021年10月27日9:00~10:30



伊那谷を自由に駆け回る子どもたちは
どんな未来を拓いていくんだろう。

2021/10/27
9:00~10:30

8/26 (木) PM13:50~15:50



校長先生と
森のムササビを作ろう

伊那西小学校 親子で楽しむ
オンライン学校見学3自由研究

2021年8月26日 木曜日
13:50~15:50
即定10時 zoom開催

伊那西小学校の授業をオンラインで体験！

2021年8月26日 (木)

午後1時50分から
午後3時40分

@Zoom 要事前申込

○1部
オンライン
いただき

○2部
オンライン
ルシの精

○3部
参加者

主催 長野県伊那市



ほんとうの自然を体験したきみは
「人間力を伸ばす教育を受けさせたい」
長野県伊那市は、そんな思いを抱いて移住して来られる方が多いまち。

移住者いわく、伊那市に教育移住する魅力とは、
「山、谷、森、川、田んぼなどバリエーション豊かな自然環境」。

そんな伊那市の学校をオンラインでご紹介！
学校見学オンラインツアー（全5回）の第3弾は「高遠町地域」。

伊那市には市立小学校が1校、市立中学校が4校、そして公私別の幼稚園や保育園、
どの学校・園も自然豊かな環境にあり、学校独自の多彩な取り組みをしています。
たくさんのお子さんがいる伊那市なら、のびのびと成長できる学び舎に出会えるかも。

山を駆けて創造力を伸ばす子どもたち

長野県 伊那市立高遠第2・第3保育園 高遠北小学校 オンライン 見学ツアー Vol.3

2021/12/21
10:00~11:30

【信州伊那谷×教育移住】がテーマのオンラインツアー

「自然豊かな環境で子どもをのびのびと育てたい」
「人間力を伸ばす教育を受けさせたい」
長野県伊那市は、そんな思いを抱いて移住して来られる方が多いまち。

移住者いわく、伊那市に教育移住する魅力とは、
「山、谷、森、川、田んぼなどバリエーション豊かな自然環境」。

そんな伊那市の学校をオンラインでご紹介！
学校見学オンラインツアー（全5回）の第3弾は「高遠町地域」。

伊那市には市立小学校が1校、市立中学校が4校、そして公私別の幼稚園や保育園、
どの学校・園も自然豊かな環境にあり、学校独自の多彩な取り組みをしています。
たくさんのお子さんがいる伊那市なら、のびのびと成長できる学び舎に出会えるかも。

EVENT

2021.12.21 Tue. 第3弾は

10:00 ~ 11:30

ZOOMウェビナー

要事前申込

・高遠第2・第3保育園
・高遠北小学校

現地からオンラインでご紹介！

主催 長野県伊那市

伊那市の取り組みが「農業白書」に掲載

(事例) オンラインでの交流、移住相談会を実施(長野県、群馬県)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、Web会議システム等のオンラインを活用した地方と都市との交流や移住相談会が行われています。

長野県伊那市では、令和2(2020)年8月に、保育園や小学校の見学等を予定していた移住希望者等に向けて、オンラインで伊那市内を巡るツアーを開催しました。第1回目のツアーでは、市役所の職員と小学生等が、総合学習に力を入れている小学校や、県外からの移住者を訪問し、その様子をWeb会議システムを通じてライブ中継しました。

この取組には300人以上の移住希望者が集まり、オンライン上でも活発な質疑応答が行われるなど好評だったことから、以降も定期開催し、令和2(2020)年度末時点で、計4回のオンライン体験ツアーを行い、これまでに6世帯が移住しました。

また、群馬県では以前から県庁の窓口や都内で開催する移住相談イベント等を通じて、県内への移住希望者の相談に対応してきました。令和2(2020)年度はオンラインを通じた移住相談会を19回開催しましたが、移住相談者が移住を検討する理由として、以前は田舎暮らしに憧れた事例が多かったものの、新型コロナウイルス感染症拡大後では、「安全・安心」を求めて、移住を検討する者が多くなっています。

県が把握している限りでは、令和2(2020)年度末時点で、44組85人が勤務先への通勤が可能な市部を中心に移住しています。



保育園等を紹介する
オンライン体験ツアー

資料：伊那市



オンライン移住相談会の様子

資料：群馬県

【令和5年度実績】

- ・移住定住イベント等：37回開催 859名参加 (R4年度：36回開催 461名参加)
- ・移住フェア等：8回開催 217名参加 (R4年度：8回開催 184名参加)

(6) SMOUT

【SMOUT 移住アワード 2023 2年連続 第1位!】

「SMOUT」は、(株)カヤックが運営する移住・関係人口促進のためのマッチングサービス。地域の人（自治体、事業者、個人など）が、地域に興味のある人を募集し直接スカウトすることができる「スカウト型」の機能が特徴的な情報サイト。

本市ではコロナ禍以降、地域の魅力発信や移住・定住の情報発信の柱として、このサイトを活用し、オンライン相談やセミナー、体験ツアー、地域おこし協力隊の募集など幅広く活用している。

本市を含む国内外の約 900 地域が登録し、約 58,000 人のユーザーが利用。

移住希望者や田舎暮らし検討者等の間では、広く知られた情報サイトとなっている。

【2023 年度 総合結果発表】約 5 万 8 千人のユーザーから興味を集めた人気移住地域ランキング『SMOUT 移住アワード 2023』

約 900 地域から選ばれたのは【市区町村部門】**1 位 長野県伊那市**、2 位 島根県海士町、3 位 鹿児島県和泊町

(株)カヤック(本社：神奈川県鎌倉市、代表取締役 CEO：柳澤大輔)が、自社が運営する移住・関係人口促進のためのマッチングサービス「SMOUT」に登録する一般ユーザー約 5 万 8 千人が 2023 年度で興味を示したプロジェクトから、上位にランクインした 30 地域を『SMOUT 移住アワード 2023』として発表しました。

〈SMOUT 移住アワード 2023 (年間)〉

【市区町村部門】



【都道府県部門】



〈参考：SMOUT 移住アワード 2022 (年間)〉

【市区町村部門】



【都道府県部門】



(7) 移住定住ガイドブック

伊那市

ありきたりに
見える日常こそ、
幸せの記憶。



新しい暮らしを探そう



長野県伊那市は
こんなところですよ！

長野県は、自然豊かな山と谷の地形が特徴で、四季折々の美しい風景が広がっています。伊那市は、その中でも自然と調和した暮らしが楽しめる地域です。移住定住ガイドブックを通じて、伊那市の魅力を詳しくご紹介いたします。

DATA

人口 24,924人
 面積 200.95km²(長野県内第1位) 2019年現在(国勢調査)
 市長 伊藤 隆太郎
 市議会議員 12名
 市長選 2019年
 市議会選 2019年
 選挙区 長野県第10区
 選挙区 長野県第10区

contents

03 私たちの暮らし summer
 06 いなに暮らす、あの人を助けて
 07 いな暮らし
 09 伊那に暮らしたくてはいない、あの人ごころ

11 伊那市に来る、住む、働く
 13 私たちの暮らし、住む、働く
 17 いな暮らしマップ



伊那市
移住ガイド
編集チーム



伊那市
移住ガイド
編集チーム



伊那市
移住ガイド
編集チーム



伊那市
移住ガイド
編集チーム



伊那市
移住ガイド
編集チーム



伊那市
移住ガイド
編集チーム



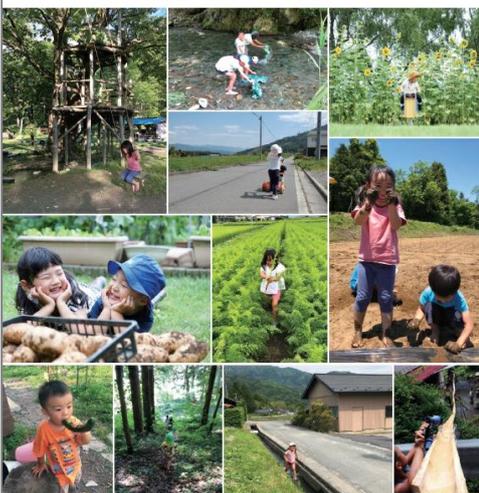
伊那市
移住ガイド
編集チーム



伊那市
移住ガイド
編集チーム

ミンミン、ガガガの賑やかな夏の音は、子どもたちのエネルギーも最高潮。

夏はドキドキに満ちて



田舎にぬくもりがあり、草花が咲く春は、子どもたちの好奇心も高まります。

春はワクワクを探しに



新しい暮らしを探そう

夏は、子どもたちが元気な姿を見ることができ、心も元気に過ごせます。伊那市には、自然と調和した暮らしが楽しめる地域があります。伊那市には、自然と調和した暮らしが楽しめる地域があります。伊那市には、自然と調和した暮らしが楽しめる地域があります。

春は、子どもたちが好奇心を伸ばすのに最適な季節です。伊那市には、自然と調和した暮らしが楽しめる地域があります。伊那市には、自然と調和した暮らしが楽しめる地域があります。伊那市には、自然と調和した暮らしが楽しめる地域があります。



移住ガイド編集
チームメンバー

(8) 地域の教科書 (市内 86 区)

地域の教科書

高遠町地区
あらまち
藤澤区 荒町

地域の紹介

自然豊かな集落で地区内には、信州型自然保育認定の保育園、市営住宅、警察官駐在所などがあります。区内にある興船神社には、伊那市有形文化財指定の興船神社本殿、神輿があり寛永13年保科正行公が高遠藩から最上藩へ入封される際に寄進したとされる、伊那市無形民俗文化財指定の「子供駒馬行列」の祭具一式が保存されています。毎年、4月の例祭、9月には祭具の虫干し等を区民参加で行い、保存伝承に努めています。また、農産物直売所やお盆の納涼祭など、様々な活動を行っています。

地域の教科書は、「地域の様子や行事、疑問となる負担など、地域で暮らすために知っておきたい情報を事前に知ってもらうことを目的に作成しました。解あって同じ地域に住むことになった皆さまが、地域の住人として安心して暮らしていけるよう、スムーズにコミュニケーションになり、ともに地域を作っていく仲間になってほしい、そんな願いを込めて作成しています。

ようこそ！伊那市へ！

区の情報

- 区民の人数: 60人
- 世帯数: 28世帯
- 最寄りの保育園: 高遠第2・第3保育園
- 小学校区: 高遠北小学校
- 中学校区: 高遠中学校

常会等の構成 / 全6班で構成
区の主な役員 / 区長、区長代理(兼会計)、衛生部長、土木部長、公民館企画、氏子総代

JRバス 高遠駅からの距離: 車で13分

最寄りのスーパー: ニシザワ高遠食彩館 (14分)

近隣の医療機関など: 長藤診療所 (8分)、保科歯科医院 (14分)

その他: 最寄りのバス停は、JRバス関東高遠線緑沢・茅野線「荒町」です。

※ () 内は地区内から車で移動した場合にかかる時間です。

～区費やその他の負担金について～

- 入区費: なし (入区届け必要)
- 区費 (年額): 36,000円
- 集金方法: 毎月3,000円 班長が集金します。
- その他の負担金等

区費 (自治会費) は、どのような用途で使われるのですか? 区費 (自治会費) は、毎年、区の総会で事業の承認を得てから

- ◆ お祭りやイベントなど地域の交流を深めること。
- ◆ 防犯灯の設置と電気代、消防・防災の設備整備や活動の支援、交通安全の推進など地域の安心と安全を守ること。
- ◆ ゴミステーションや水路の管理など、きれいで住みよい環境づくりに関すること。
- ◆ 公園や花壇の整備、地元の寺社仏閣や伝統芸能の保存など、日々の生活に潤いをもたらす活動に使われています。

伊那市の「まちづくり」は、地域の協力による様々な活動によって実現されています。

区民の主な行事

月	主な行事	区民が参加して行う事業
4月	春祭り、新年度総会	高遠城下まつり
5月		毎年9月第1週の土曜日に開催されるお祭りです。小学生や伝承会による「加東高遠城」の舞、高遠中学校吹奏楽部の演奏信州高遠鉄砲隊の地術演習、高遠囃子や町民出陣の踊りなど、見ても参加しても楽しいお祭りです。
6月		子ども駒馬行列
7月	河川草刈り、環境整備	
8月		興船神社
9月	防災訓練、騎馬祭り虫干し	
10月	定期総会	
11月		
12月		
1月	新年会	どんど焼き
2月		
3月	年度末総会	
その他		

区長さんからのメッセージ

区内には保育園があるので、子供達の笑い声が聞こえてきます。また、頼りになる駐在所もあるので、安心に暮らせます。

ごみの出し方についてのお願い

伊那市のごみ・資源物収集は、ステーションによる収集方式になっています。ごみステーションは、各地区の衛生自治会等が設置し、役員や各家庭が協力して管理をしています。ご利用にあたっては、各地区の役員の方にご相談ください。

藤澤区主なごみの収集日

燃やせるごみ	毎週月・木曜日	資源物	毎月第1水曜日
燃やせないごみ	第2・4火曜日	古紙類	毎月第4水曜日
資源プラスチック	毎週金曜日		

※祝祭日などで変更になっている場合もあります。ごみ・資源物収集カレンダーでご確認ください。カレンダーはスマートフォンアプリでも見る您可以通过。 [さんあ〜る](#) [検索](#)

「指定ごみ投入チケット」については生活環境課まで

燃やせるごみ、燃やせないごみを出すには有料指定ごみ袋が必要です。このごみ袋は、チケットがないと購入できません。チケットを生活環境課の窓口でお渡しし、ごみの分別、チケットの使用法について説明いたしますので、お申し込みの手続きが済みましたら、生活環境課までお越しください。

お問い合わせ、ご相談は

伊那市役所
TEL: 0265-78-4111 (代表) FAX: 0265-74-1250

移住に関するお問い合わせ
住まいや子育て、お仕事のことなど、お気軽にご相談ください。

企画部地域創造課 人口増進係
E-mail: jkz@inacity.jp

伊那市 <https://www.inacity.jp/jp/>

いろいろな手続き

伊那市役所庁舎	高遠町総合支所 長谷総合支所
4階 地域創造課 移住定住のこと 空家バンク	住民票 戸籍の届出 印鑑登録 ごみの出し方 国民健康保険 福祉医療 各種検診 健康相談 各種税証明 過疎地域定住促進補助金
3階 学校教育課 (学路係) 小中学校の転入手続き	生涯学習課 (青少年係) 学童保育の相談
1階 市民課 住民票 戸籍の届出 印鑑登録 (印鑑証明)	生活環境課 ごみの出し方 指定ごみ袋購入券
	子育て支援課 保育園の入園 児童手当
	健康推進課 国民健康保険 国民年金 予防接種 各種検診 健康相談 福祉医療
伊那市上下水道料金センター 水道の開栓手続き	
福祉相談課 介護保険	

伊那市地域安心安全メール

火災情報・防災情報・地域の情報・伊那市からのお知らせなどを配信しています。お使いのパソコン、スマートフォン、携帯電話から

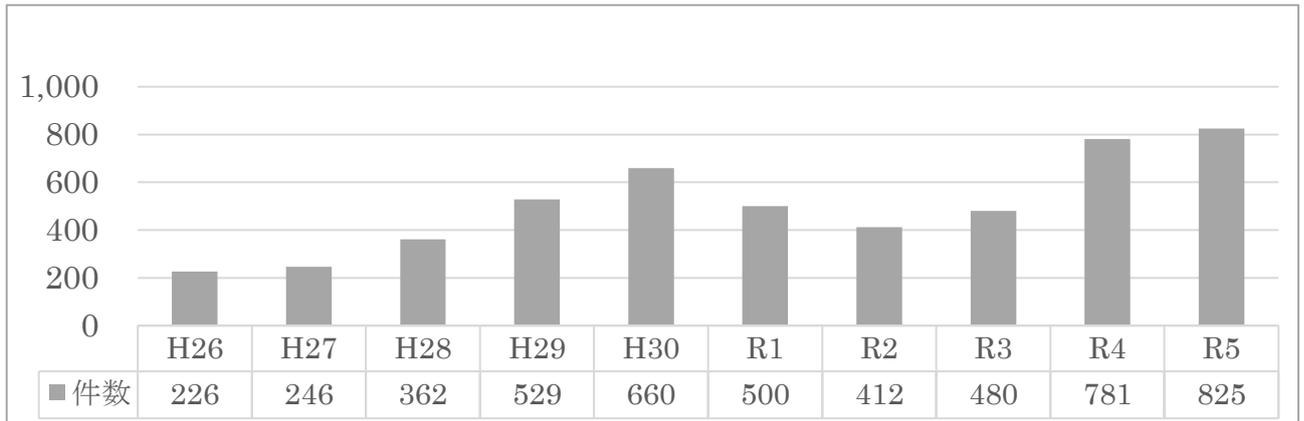
p-inacity@anshin174.jp にメールを送っていただくか、その後返信される案内にしたがって登録や情報の変更などを行います。

【発行】 伊那市役所 企画部
〒396-8617 長野県伊那市
TEL: 0265-78-4111
E-mail: jkz@inacity.jp

市民ホール (市民課前) →

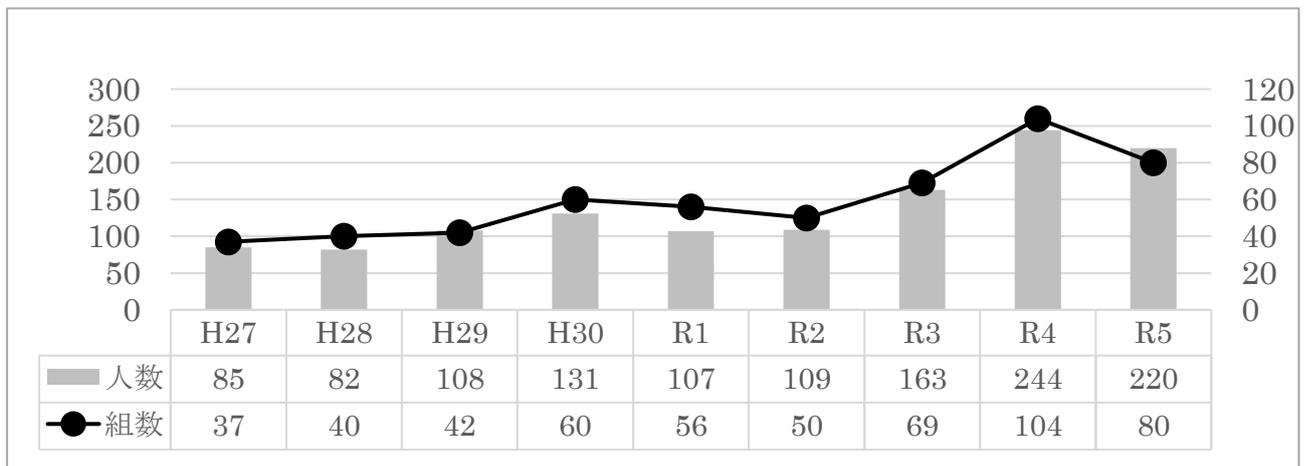
4 移住施策の効果

(1) 移住相談件数

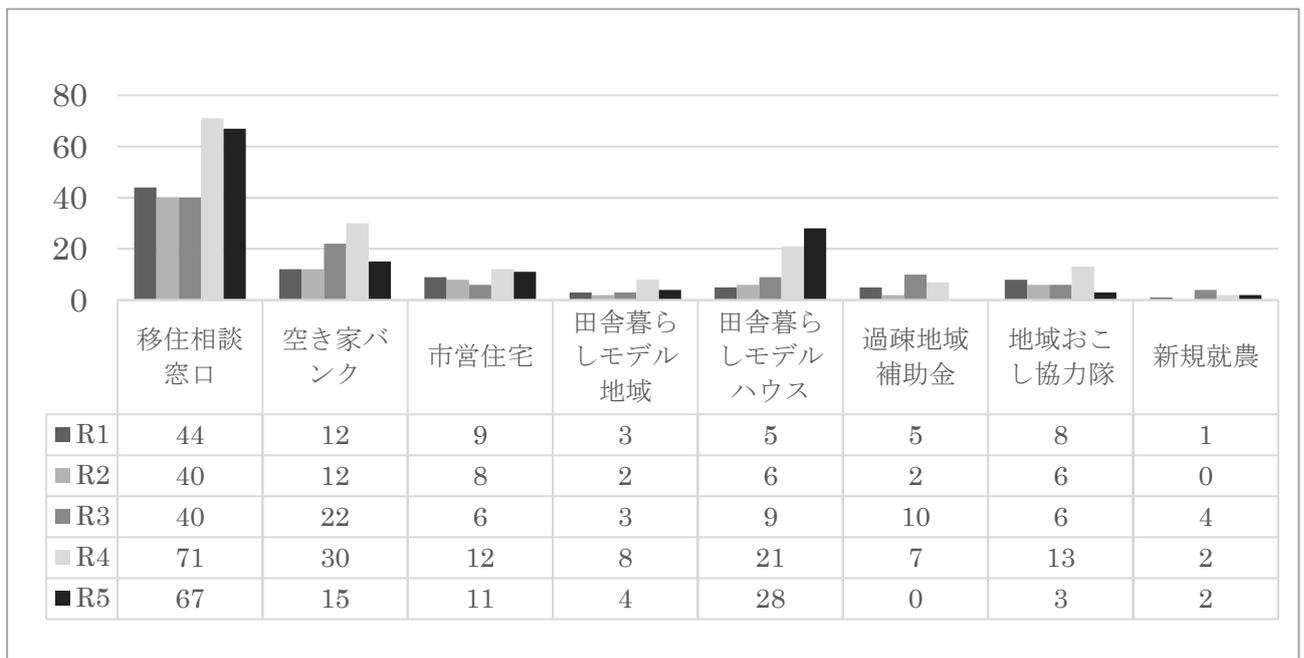


※R1 から空き家バンクの運用方法を変更

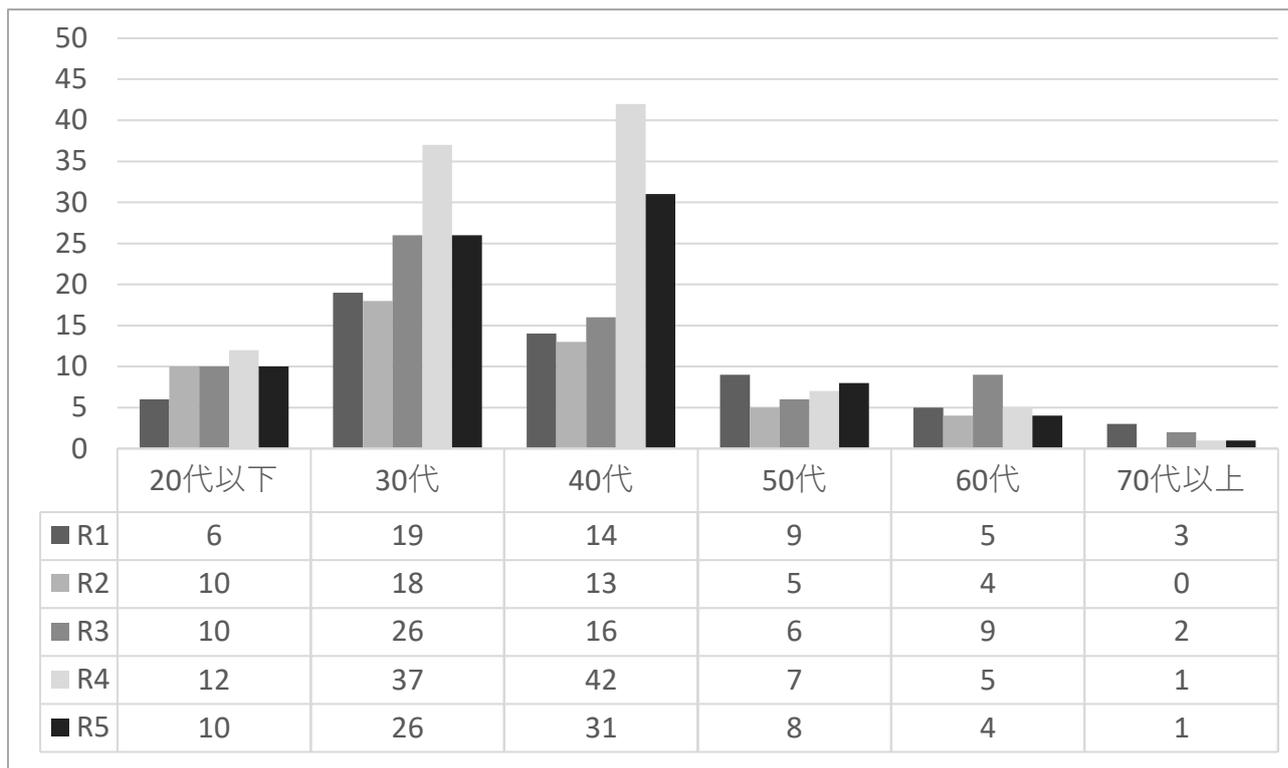
(2) 施策別移住者数



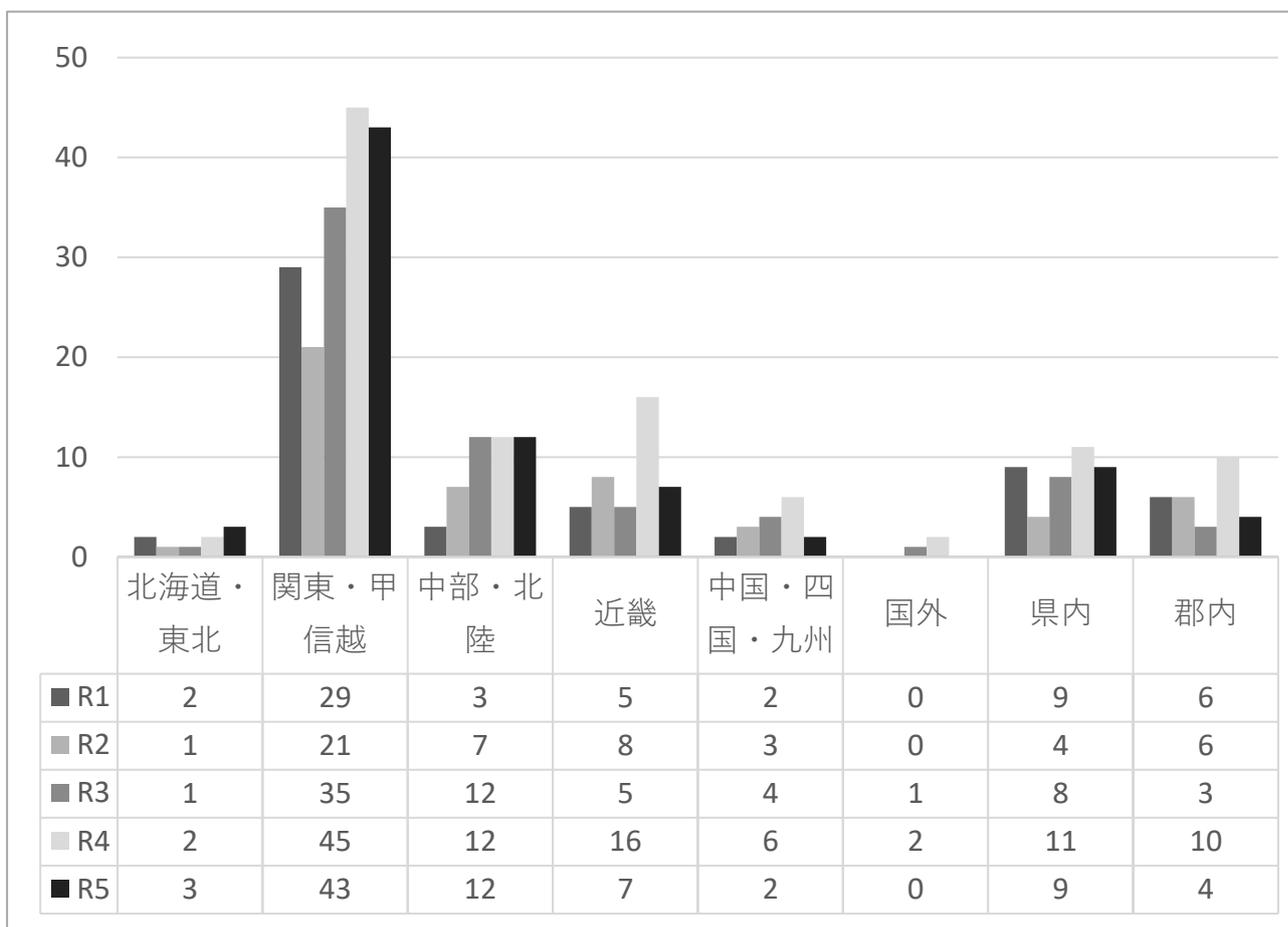
(3) 施策別移住世帯数



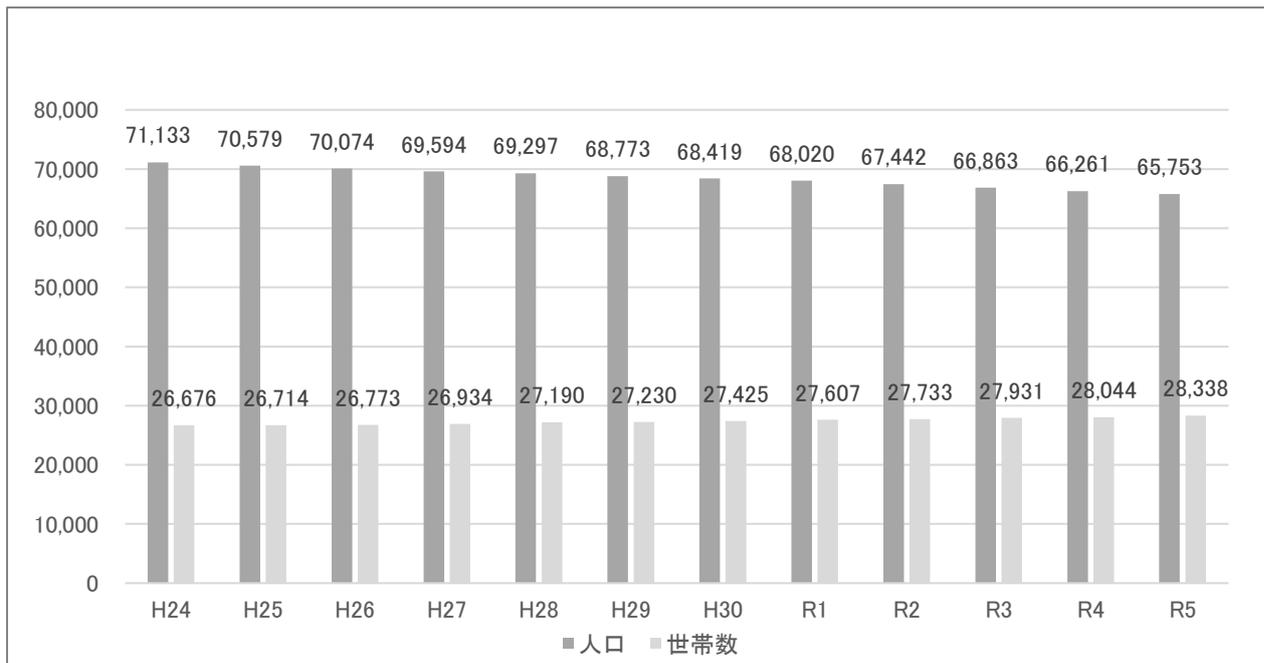
(4) 年代別（世帯主）移住世帯数



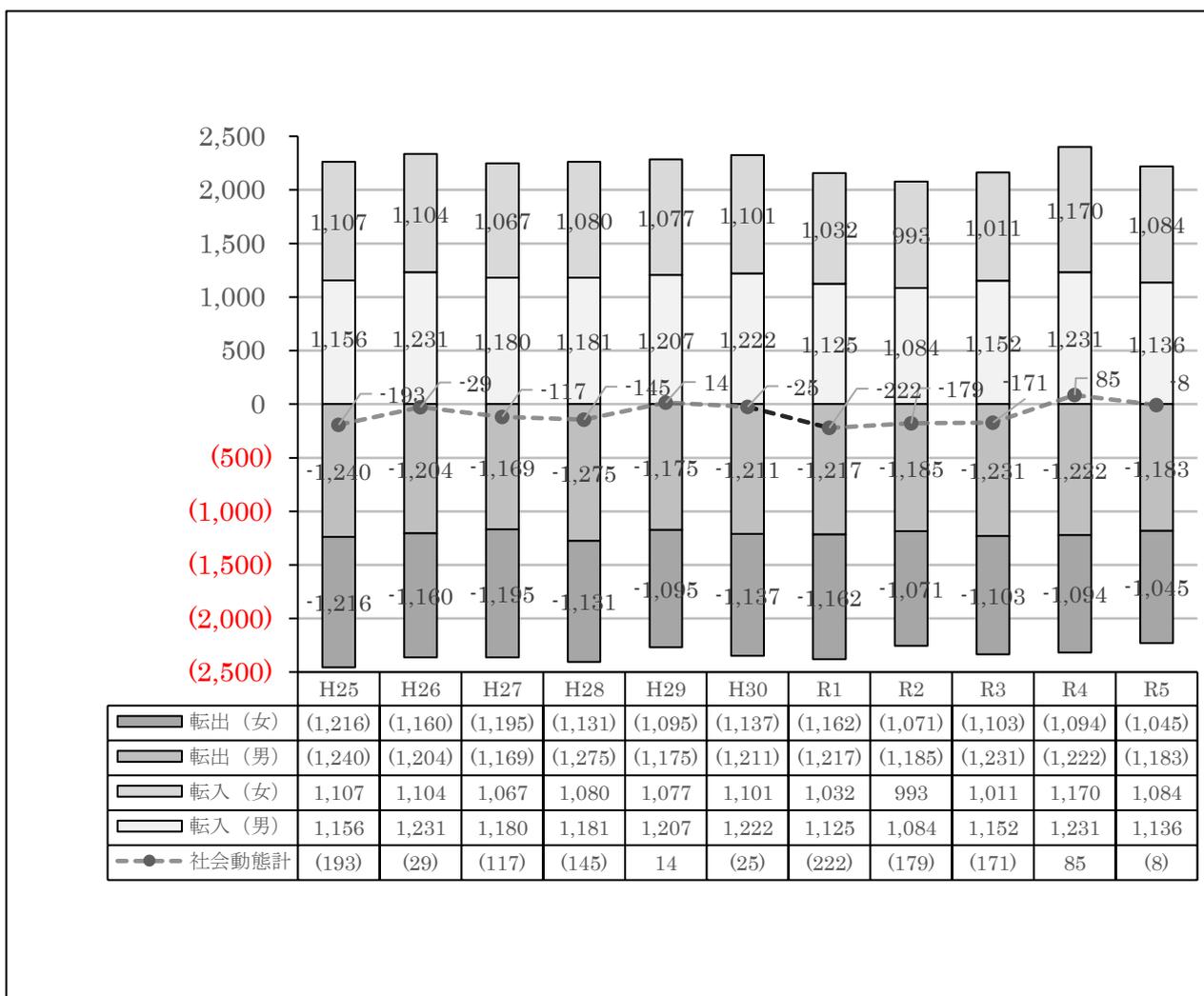
(5) 転入元別移住世帯数



(6) 人口・世帯の推移



(7) 社会増減の推移



伊那市の概要

伊那市は、平成 18 年 3 月 31 日に伊那市・高遠町・長谷村が合併して新「伊那市」として誕生しました。

長野県の南部に位置し、南東側は南アルプスを境に山梨県と静岡県に接し、西側は中央アルプスを境に木曾地域に接しています。市域は 667.93 k m² で、松本市、長野市に次いで県下 3 番目の面積であり、その市域に、南アルプスと中央アルプスの 2 つのアルプスがそびえています。2 つのアルプスに抱かれた中央部には、標高約 600m の伊那盆地が開け、天竜川や三峰川、その支流を合わせて南下し、扇状地や河岸段丘が形成されており、その上段からは広大なパノラマが展開しています。

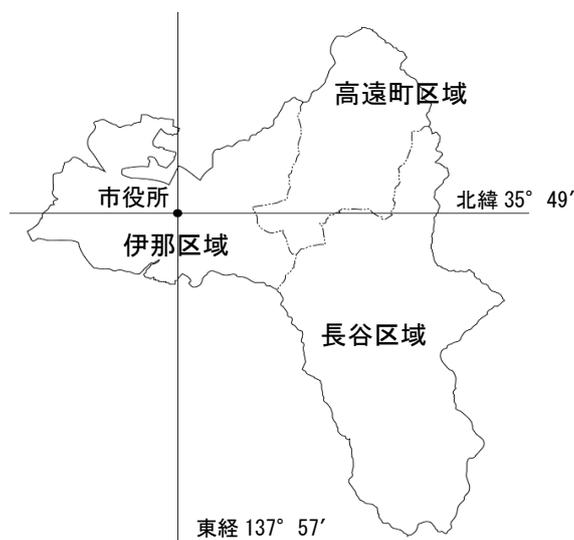
また、東部に南アルプス国立公園、三峰川水系県立公園を、西部に中央アルプス県立公園を有し、自然に恵まれた地域となっています。

気候は内陸的で、年間平均気温が約 11℃、年間の日照時間も長く、冷涼で住みよい環境にあります。

市の交通は、市の中央を J R 飯田線が走り、中央本線・東海道本線に連絡しています。道路では、平成 18 年 2 月に「権兵衛トンネル」が開通した国道 361 号を始め、国道 152 号、153 号及び県道が縦横に走り、東西・南北が結ばれ、交通の要衝となっています。また、西部には中央自動車道が南北に走り、伊那 I C に加え平成 29 年 9 月には小黒川 P A にスマート I C が開通しました。首都圏及び中京圏からもほぼ等距離にあり、位置的にも恵まれた地域です。

近年、食料品・機械器具・電子部品などの製造業が発展し、商業は上伊那地域の中心として成長しています。また、農業は恵まれた広大な農地を利用した伊那米や、野菜・花き・畜産の総合産地となっています。

上伊那地域の政治、文化、教育、経済、交通の中心地として、「未来を織りなす創造と循環のまち」伊那市のさらなる発展をめざしています。



総面積	667.93 k m ²
広ぼう	東西 37.2 k m、南北 44.7 k m
最高地	3,052 m (塩見岳東峰山頂)
最低地	590 m (東春近田原)
人口	64,969 人
人口密度	102.8 / k m ²
世帯数	28,699 世帯
市役所への最遠地区	高遠町 藤沢古屋敷 20 k m

※人口・世帯：令和 6 年 10 月 1 日現在